

# BREATHING OF V I S I O N P A I N T I N G



KOIAS  
ART  
PROJECT

雰囲気 X アート

7 2024

11 & 12

Mother III 2018-2022 Oil on Canvas 194.0 x 162.0 cm

## #1 AKIRA MIZUNO | 水野 暁

「視覚の呼吸、絵画の呼吸」トーク × ワークショップ

会場 | 神戸大学 / デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)

ゲスト | 水野暁 (画家)

モデル・パフォーマンス | ハラサオリ (美術家・振付家・ダンサー)、黒田健太 (ダンサー)

聞き手・コーディネーター | 松山 聖央 (美学・芸術学・雰囲気学)、岡元ひかる (ダンス研究)

主催 | 神戸雰囲気学研究所 (KOIAS) 共催 | 武庫川女子大学附属総合ミュージアム、岡山県立大学

協力 | Artist in Residence KOBE (AiRK)、デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 助成 | 島津製作所、科研費 23H00574

KOIAS



武庫川女子大学附属総合ミュージアム  
Museum of Women's University

AiRK

KIITO

SHIMADZU  
Excellence in Science

科研費



常に対象の前に立ちそれを描き留めようと試みる。その際、視覚のみならず触覚などの五感も働かせながら描くことになるだろう。

「この世界をどう描くか」という試みでもあり、その結果、絵画におけるリアリティの追求、そして写実表現の可能性を示せたらと考えている。

作家ステートメントより



# #1 AKIRA MIZUNO | 水野 暁

## 「視覚の呼吸、絵画の呼吸」トーク × ワークショップ

神戸霧田気学研究所がアートの領域と協働する KOIAS アート・プロジェクト。2022年に始動した #1 の成果として、画家・水野暁をゲストに迎えます。現場制作を基本とし、対象と数年にわたり向き合いながら描かれる絵画には、時間の経過、季節の変化、身体的な運動が積層し、画家が対象と交わした呼吸が息づいています。制作過程や絵画というメディアについて語っていただくトークと、動く人間の身体をドローイング的手法によって描くワークショップにより、「視覚の呼吸、絵画の呼吸」についての理解と体験を深めます。

### プログラム

**7/11** **アーティスト・トーク**  
水野暁の絵画や制作過程について、「霧田気」や「呼吸」をキーワードに迫ります。  
ゲスト | 水野 暁 聞き手 | 松山 聖央  
会場 | 神戸大学 瀧川記念学術交流会館 (地図参照)  
※13:30 より受付開始。直接会場にお越しください。  
※事前申込不要、参加無料。どなたでも聴講できます。

**7/12** **ワークショップ & パフォーマンス**  
人間の身体(ダンサー)をドローイングの手法を用いて描きます。  
指導 | 水野 暁  
モデル・パフォーマンス | ハラ サオリ、黒田 健太  
会場 | デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)  
対象 | 中学生以上 (定員 20 名)  
申込 | 左記 QR コードよりお申し込みください。  
締切 | 2024 年 6 月 30 日 (申込多数の場合は抽選)  
※参加無料、会場詳細は参加者に別途お知らせします。  
※床で描きます。必要な方は座布団などご持参ください。

**神戸霧田気学研究所 KOIAS とは？**  
近年、国内外で注目が集まる新しい学術領域「霧田気学」を創出・展開するために 2022 年設立。哲学、文学、歴史学、芸術学、感性論、心理学、地理学、建築学、言語学など多岐にわたる分野 / 文化横断的な研究を進めながら、身近で新しい「霧田気」の概念、体験、事象を探究する。イタリア、ドイツ、スロベニア、カナダ、台湾の研究機関と連携し、国際的な活動を展開している。

Follow us!

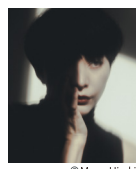


### ゲスト・登壇者略歴

**水野 暁 (画家)**  
群馬県を拠点に絵画制作に取り組む。スペインのマドリードに三度滞在して研鑽を積み、2000 年代後半以降は樹木や山などの自然物を数年がかりで描いた屋外制作や、自身の母をモデルに揺れ動く身体をとらえた連作などにより、絵画の限界と可能性を探究している。多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻 (油画) 修了 (2001)、上毛文化新人賞受賞 (2008)、文化庁新進芸術家海外研修制度派遣 (スペイン・マドリード、2014-15)。高崎市美術館にて個展「水野 暁—リアリティの在りか」開催 (2018)。現在、東北芸術工科大学客員教授、武蔵野美術大学通信教育課程・女子美術大学・広島市立大学非常勤講師。



**ハラ サオリ (美術家、振付家、ダンサー)**  
1988 年東京生まれ。美術家、振付家、ダンサー。「環境と身体」をテーマに、自らの身体、光、音、テキスト、ドローイングなど多様なメディアを用いた上演型作品を制作する。東京芸術大学デザイン科、ベルリン芸術大学舞踊科修了。



**黒田 健太 (ダンサー)**  
京都を拠点に主にダンス分野で活動しながらカフェ / 宿泊施設で働く。ダンサーとして活動しつつ、2018 年より路上で偶然出会った人と時間を共にする実践を行い、彼らからその経験を借りることで制作活動を展開している。



**松山 聖央 (美学、芸術学、霧田気学 / 岡山県立大学准教授)**  
**岡元 ひかる (ダンス研究 / 兵庫県立芸術文化観光専門職大学助教)**

お問い合わせ  
神戸霧田気学研究所 (〒657-0013 神戸市灘区六甲台町 1-1 神戸大学人文学研究所)  
E-mail: k0121712@suite.kobe-u.ac.jp ※お返事に時間を要する場合があります。